

10月3日に町指定
研究発表会を行います。

桂川町立幼稚園園長 中山 徹一

夏休みに長年の願いでありました、クーラー、園庭と駐車場の間にフェンス、園庭に遊具・ジャンブルジムを設置していただきました。厳しい財政の中誠にありがとうございました。楽しいジャンブルジム等遊具を使い、子どもたちの体力の向上を図りたいと思います。

本園では、年2回、春と秋に体力テストを行い、子どもたちの運動能力を調べ、子どもたちの体力の向上を図るための研究を行っています。

研究テーマを「健康な身体と豊かな心を育てる幼稚園教育」副主題「キッズヨガのよさを活用した運動遊びを通して」とし、桂川町教育委員会の指定を受け、研究を重ねてきました。キッズヨガのよさを取り入れ、鉄棒やボール遊びなど楽しく遊びを通して運動に親しませています。キッズヨガは、正しい姿勢、呼吸法、柔軟性やバランスなど幼児期に必要な運動機能をより効果的に高めることができます。幼児期に運動に親しませることで、児童期や青

年期、将来にわたって運動が好きになり、健康の増進や体力の向上につながるかと考えています。この研究の結果を10月30日町内の小学校や中学校の先生方に発表し小学校や中学校との連携を深めていきます。



平成30年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況(その1)

桂川町教育委員会

本年度も四月に実施した「全国学力学習状況調査」の結果の概略を報告します。小学校6年生と中学校3年生の国語・算数(数学)に加え、三年に一度実施される理科の三教科で実施しました。

小学校6年生と中学校3年生の三教科ともに、本年度は、全国の平均正答率に至りませんでした。

しかし、グラフをみていただきますと分かりますように、調査が始まった平成19年度から、年によって差が開いたり縮まったりはしていますが、全国や県との差は着実に縮小してきております。

小学校5年生と中学校1・2年生に対しても六月に実施された「県の学力・学習状況調査」の公表がされます。それを受けて、桂川町としての「学力向上」の改善をしていきたいと考えています。

調査は、学力の状況だけでなく、学習の状況や生活実態の項目もありますので、12月号で併せてお知らせしたいと思います。

各学校では、学力を伸ばすために、

さまざまな教育実践に取り組んでおります。子ども達の学習習慣を身に付けさせるためには、家庭の協力が是非とも必要になっていきます。「家庭教育の手引き」や「家庭学習のすすめ」などを活用し、子ども達への支援を宜しくお願ひします。

【学力・学習状況調査の推移】
(小学校6年生・中学校3年生の正答率 桂川町と県平均の比較)

